令和４年２月２２日

阿賀野市長　田　中　清　善　　様

阿賀野市行政改革推進委員会
委員長　伊　藤　閲　男

阿賀野市行政改革推進計画における実行計画の進捗管理及び阿賀野市公共施設等総合管理計画における第１期個別施設計画（アクションプラン）の策定について（答申）

令和３年１０月２６日に貴職より諮問を受けた事項について調査審議を行い、その結果を下記のとおり取りまとめましたので、答申いたします。

貴職におかれましては、本答申を十分に考慮され、適正で効率的な事業が推進されていくことを心より期待いたします。

記

１　阿賀野市行政改革推進計画における実行計画の進捗管理について

実行計画の進捗状況についておおむね妥当と認めます。なお、個別の事業に関する意見は別紙１のとおりです。

２　阿賀野市公共施設等総合管理計画における第１期個別施設計画（アクションプラン）の策定について

公共施設は、市民の大切な財産であり、行政として、これらの施設を適切に維持管理していくことはもちろんのこと、設置目的に即して有効に活用していく必

要があります。そのためには、施設の修繕や長寿命化のための大規模改修等を計画的に実施するとともに、必要に応じて、機能の強化や拡大、あるいは用途変更、規模縮小などを適切に選択して実行していかなければなりません。

また、管理運営方式に関しても、直営にこだわらず、民営化や指定管理者制度の導入等の民間活力の活用、関連施設との連携などを積極的に取り入れる必要があります。

一方、施設の中には、社会情勢の変化により当初の目的を終えたもの、老朽化により目的を果たせないものもあり、他に代替機能や類似機能を有する施設もあることから、将来の需要予測や財政事情を考慮し、これらの施設すべてを維持するのではなく、集約化を図った上で譲渡や廃止といった選択肢も考えられます。

ただし、譲渡や廃止を進める場合、その理由や手順を市民へわかりやすく丁寧に説明する必要があります。

本答申を踏まえ、施設毎に明確な方針を定め、ＰＤＣＡ（計画→実行→評価→改善）サイクルにより適切な進捗管理を行ってください。

なお、当委員会に提示された２１施設に関する意見は別紙２のとおりです。